

入札参加者 各位

7営設第2431号
令和7年11月28日

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質 疑	回 答
1	設計図書 S-002、009	圧接試験について、構造特記仕様書では超音波探傷試験のみ適用ですが、構造補足特記仕様書では、引張試験と超音波探傷試験の両方が適用でいい違います。今回は超音波探傷試験のみと考えて宜しいでしょうか。また、1ロットあたり継手は200箇所と考えて宜しいでしょうか。	超音波探傷試験のみと考えてよろしいです。 1ロット当たりの数量は積算上適宜見込んでください。仕様書上は一組の作業班が一日に行った圧接箇所です。
2	設計図書 S-012	梁貫通孔補強について、既製品とすると記載がありますが、仕様が不明です。参考メーカーの提示をお願いいたします。	RC部はリンブレン、ダイヤレン等 鉄骨部はOSリングとしてください。
3	設計図書 A-008-1 A-013-1 A-018-6	立面図の凡例8:垂壁(アルミハネル)において、下記を御指示下さい。 ・アルミハネルの厚み ・取付下地の仕様・サイズ・取付ピッチ	アルミハネルの厚み:t=2.0 曲げ加工 取付下地の仕様・サイズ・取付ピッチ:鋼製下地65型 @600
4	設計図書 A-016-19	SD-107において、建具表で合板t12サイディング処理WPと記載がありますが合板はラワンと考えて宜しいでしょうか。また、サイディング処理の詳細を御指示下さい。	宜しいです。サイディング→サンディング処理の誤記です。表面全面にやすりがけを施してください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
5	設計図書 A-118	SD-4において、引き残し寸法はW150と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
6	設計図書 A-118	SW-4において、建具表姿図では嵌殺し窓、形式欄ではFIX窓+引き違い窓とくい違います。姿図を正とし、嵌殺し窓と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
7	設計図書 A-206	SD-1において、建具表姿図では両開き、形式欄では片開きとくい違います。姿図を正とし、両開きと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
8	設計図書 L-09	雨水排水計画平面図において、下記集水樹がありますが詳細が不明です。サイズ・仕様・蓋仕様・耐荷重等の分かかる断面詳細を御指示下さい。 ・SM-1B ・SM-1C	SM-1B,SM-1C共にL-11(6)のスリット側溝樹(SS-M)のことです。耐荷重は歩道用です。
9	設計図書 L-11(6)	詳細図(6)において、スリット側溝樹(SS-M)がありますが雨水排水計画平面図に該当する図示が見当たりません。施工範囲を御指示下さい。	スリット側溝樹(SS-M)=SM-1B,SM-1C
10	設計図書 L-09 L-11(6)	グレーティング側溝(GS)において、蓋のサイズが下記の様にくい違います。詳細図(6)のSUS製グレーティング蓋(32×350×1000)を正と見て宜しいでしょうか。 ・雨水排水計画平面図…SS400製グレーティング蓋(32×300×1000) ・詳細図(6)…SUS製グレーティング蓋(32×350×1000)	宜しいです。
11	設計図書 L-09	雨水排水計画平面図において、凡例【アートインフォメーションベース(AIB)外構】にビニール管(E-150)がありますが図示が無く施工範囲が不明です。凡例数量を見込むと見て宜しいでしょうか。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
12	設計図書 L-11(4)	詳細図(4)において、築地塀際グレーティング蓋の詳細が不明です。材質・耐荷重を御指示下さい。	U300用スチール製グレーティング蓋 歩行用 を見込んでください。
13	設計図書 L-08	施設計画平面図において、アートインフォメーションベース(AIB)に 目隠し用竹塀がありますが、明確な施工範囲が不明です。 下記青線部分を見込むと考えて宜しいでしょうか。 	竹塀範囲は添付図の赤線です。 
14	設計図書 L-11(8)	詳細図(8)において、高木H3.0m以上の植穴客土詳細がありますが下記樹木が該当せず適用する植穴客土 が不明です。御指示下さい。 ・クロマツ (H2.5 C0.12 W1.0) ・アラカシ (H2.0 W0.5)	記載いただいた樹木については、植穴客土は高木H3.0m以上の幹周20以上～25未満と同等とします。
15	設計図書 L-11(4) L-08	L-11(4)の築地塀撤去仕上げ図で、撤去後天端仕上げは 洗い出し平板、L-08の施設計画平面図凡例では テラジータイル仕上げとなっています。どちらが正でしょうか。	洗い出し平板が正です。
16	図面 L-06	現況撤去平面図において フェンス撤去(敷地境界)における図示がないようですので、範囲の明示をお願いいたします。	添付図の赤破線で強調している範囲を参照ください。 
17	図面 L-06	現況撤去平面図において 南面(国体道路側)は自然石野面積み一2にて、基礎擁壁については、再利用ですが、その他の場所(東面 にも擁壁あり)の撤去は不要と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
18	図面 L-06	現況撤去平面図において 石積み擁壁撤去 H=800(国体道路沿い)は、処分(産廃処分・安定型)で考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。